

第一回北九州リノベーションスクール募集要項

1. 第一回北九州リノベーションスクール

－新しいまちのプレイヤー、リノベーションアーキテクトのスクール

(1) 開催趣旨

北九州リノベーションスクールは、これからのまちづくりのプレイヤーとして期待される「リノベーション・アーキテクト」のスキルを学ぶ場です。

いま、さまざまな場所で地域再生の方法として、リノベーションを活用した地域資源の再生が動き出しています。単なる建築の再生だけではなく地域やコミュニティの再生にもリノベーションという手法が有効であることが次第に明らかになっています。

このリノベーションスクールでは、リノベーションの実践者から経験とその手法を直接に学ぶと同時に、この北九州の現場で実際に、中心市街地の空きビルを活用し具体的なリノベーションのプランをグループワークショップの形式で作り、その提案を最終日に公開の場でプレゼンテーションします。

まちの中でまちを考え、まちを提案する、新しい形のスクールです。

このスクールはコンソーシアム「HEAD 研究会」のリノベーション部会が中心となって企画されました。将来的には実際のまちづくりに関わる有力なプレイヤーとしての「リノベーション・アーキテクト」の育成を目指しています。今回のスクールはその第一回目になります。

(2) スクール概要

○スケジュール 平成23年8月27日(土)～30日(火) 計4日間の集中講座

○会場・集合場所 西日本工業大学小倉キャンパス

※集合場所詳細については参加者において連絡致します。

○集合時間・場所 初日10時30分から受付開始

○募集人数 30名程度

※定員を超えるお申し込みがあった場合は、志望理由等から主宰者側で選抜させていただきます。

○参加条件 建築家、不動産事業者、まちづくり関係者など、リノベーションに強く興味を持つ方

○参加費用 無料

※会場までの交通費・期間中の宿泊費・食費は、参加者各自でご負担願います。

○申し込み締め切り 8月15日(金) 23:59

○申し込み内容

- ・氏名
- ・性別
- ・生年月日
- ・住所
- ・連絡先(電話番号、Eメールアドレス)
- ・経歴
- ・志望動機・参加への意気込み(400字程度)

※添付ファイルを使用せず、メールに直接書き込んで下さい。

○持ち物 1. ノートパソコン(ワイヤレスネットワークに接続可能であること)

2. デジタルカメラ

○主宰 HEAD研究会(特定非営利活動法人申請中)

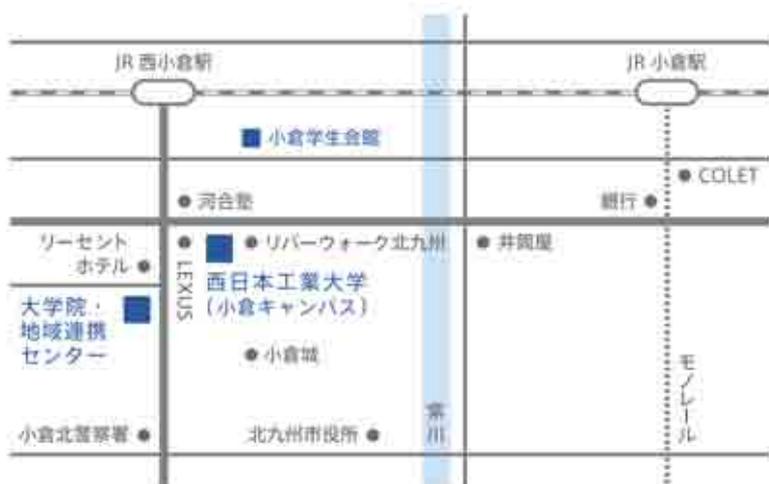
○協賛 北九州市(<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>)

西日本工業大学(<http://www3.nishitech.ac.jp/>)

北九州まちづくり応援団(株)(<http://www.kokura-townnavi.com/>)

○お申し込み・お問い合わせ先 HEAD研究会事務局 info@head-sos.jp

(3) アクセス



〒803-8787

北九州市小倉北区室町 1-2-11

Tel : 093-563-2221 (デザイン学部事務室)

Fax : 093-563-2220

Tel : 093-563-2228 (財務室)

Fax : 093-563-2151

JR 小倉駅より徒歩 10 分 / JR 西小倉駅より徒歩 2 分

※本学専用の駐車場がありませんので、お車でのお越しの際は、リバーウォーク及び、
最寄りの私営駐車場をご利用ください。

(4) プログラム

<8/27 (土) ~1 日目~>

11 : 00~ 開講式・オリエンテーション

12 : 00~ エリアサーベイ+昼食

16 : 00~ レクチャー01

(講師：北九州市)

16 : 30~ レクチャー02

(講師：清水義次)

18 : 00~ レクチャー03【市民講座①】

(講師：松村秀一)

20 : 00~ 懇親会

<8/28 (日) ～2日目～>

- 08:00～ レクチャー04
(講師：倉方俊輔)
- 08:45～ レクチャー05
(講師：田村誠邦)
- 09:30～ ユニット・ワーク 01
- 11:30～ プレゼンテーション 01
- 13:00～ レクチャー06
(講師：長坂常)
- 13:15～ ユニット・ワーク 02
- 14:00～ プレゼンテーション 02
- 14:30～ レクチャー07
(講師：大島芳彦)
- 16:00～ ユニット・ワーク 03
- 18:00～ レクチャー08【市民講座②】
(講師：大月敏雄)

<8/29 (月) ～3日目～>

- 10:00～ レクチャー09
(講師：島原万丈)
- 10:30～ レクチャー10
(講師：納谷新)
- 11:00～ ユニット・ワーク 04
- 18:00～ レクチャー11【市民講座③】
(講師：竹内昌義, 馬場正尊, 大島芳彦, 納谷新)
- 20:00～ ユニット・ワーク 05

<8/30 (火) ～4日目～>

- 09:00～ ユニット・ワーク 06
- 13:00～ プレゼンテーション 03
- 15:00～ 公開審査
(審査委員長：松永安光)
- 16:00～ 修了式
- 16:30～ クロージングパーティー

(5) 講師紹介



大島芳彦氏 株式会社ブルースタジオ 専務取締役 クリエイティブディレクター

1970 年東京生まれ。1993 年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。The Bartlett, University College London(英国)、Southern California Institute of Architecture(米国)に学ぶ。石本建築事務所を経て 2000 年から株式会社ブルースタジオ専務取締役。建築家として、自由かつ斬新な建築作品を多数手がける。特にコンバージョン・リノベーションにおいては、「ラティス青山」をはじめ、06・07 年にグッドデザイン賞連続受賞。著書に『リノベーション物件に住もう！ ～「超」中古主義のすすめ～』『リノベーションの現場』など。



大月 敏雄氏 東京大学大学院准教授

東京大学大学院 建築学専攻 准教授、博士（工学）。昭和 42 年生まれ。東京大学卒、同大学院修了。横浜国立大学、東京理科大学を経て、2008 年より現職。建築計画・住宅地計画を専門とし、近代日本の集合住宅や住宅地、海外のスラムなどを対象に、住環境の変化や利用の工夫など、時間経過の中での変化や価値の向上に着目した研究をしている。著書に『集合住宅の時間』『奇跡の団地 阿佐ヶ谷住宅』（共著）など。



倉方 俊輔氏 建築史家

1971 年東京生まれ。早稲田大学大学院博士課程満期退学。博士（工学）。西日本工業大学准教授を経て、現在、大阪市立大学大学院工学研究科准教授。著書に『吉阪隆正とル・コルビュジエ』（王国社）。共著に『建築家の読書術』（TOTO 出版）、『東京建築ガイドマップ』（エクスマレッジ）、『伊東忠太を知っていますか』（王国社）ほか。



嶋田 洋平氏 らいおん建築事務所 代表

1976 年福岡県北九州市生まれ。東京理科大学理工学研究科修了。株式会社みかんぐみでチーフをつとめた後、らいおん建築事務所設立。メルカート三番街／フォルム三番街ディレクター。横浜の馬車道エリアにてサンドイッチを通じて街の魅力を発信するプロジェクト「共同サンド」の会長も務める。京都造形芸術大学、東京芸術学舎、ICS カレッジオブアーツ非常勤講師。共著に『POST-OFFICE ワークスペース改造計画』（TOTO 出版／2006 年）



島原 万丈氏 リクルート住宅総研 主任研究員

1989年株式会社リクルート入社、株式会社リクルートリサーチ出向配属。

以降、リクルートグループ内外のクライアント企業のマーケティングリサーチおよびマーケティング戦略のプランニングに携わる。2004年、結婚情報誌「ゼクシィ」シリーズのマーケティング担当を経て、2005年より現職（リクルート住宅総研）。調査研究、執筆・講演等を通じて、ストック型の住宅市場の実現のための提言活動に従事。一般社団法人リノベーション住宅推進協議会設立発起人、監事。



清水 義次氏 アフタヌーンソサエティ代表

1949年山梨県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業後、コンサルタント会社を経て1992年(株)アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュース、家守(やもり)事業プロデュースを行っている。シェアード・オフィスREN-BASEプロジェクト運営。CET顧問。東洋大学大学院公民連携専攻客員教授。



新堀 学氏 新堀アトリエ一級建築士事務所主宰、NPO 地域再創生プログラム副理事長

東京大学工学部建築学科卒業。安藤忠雄建築研究所勤務を経て、新堀アトリエ一級建築士事務所設立、主宰。旧同潤会大塚女子アパートメントの保存活動「大塚女子アパートメントを生かす会」の活動を経て、2003年に「まちとたてものを生かす」NPO 地域再創生プログラムの設立に参加。リノベーションとまちづくりとの橋渡しを活動フィールドとする。2007年第一回リスボン建築トリエンナーレに参加出品。著書に「リノベーション・スタディーズ（INAX出版）」「リノベーションの現場（彰国社）」「建築再生の進め方（市ヶ谷出版）（2008年都市住宅学会賞著作賞）」



貞國 秀幸氏 コヤマコンセプト プロデューサー

1968年福岡県北九州市生まれ。北九州市若松区の当時賑やかな木造市場で育ち、スーパーやコンビニができ、コミュニティが失っていった時代を肌で感じ、今こそ不動産で繋がりを取り戻す時代がやってきたと会社を設立。日本人ならではの黄色魔術（イエローマジック）な不動産プロデュースを目指すアーティスト。アーティストのための賃貸マンションスタジオアパートメント KICHI 等プロデュース。



竹内 昌義氏 みかんぐみ共同主宰

みかんぐみ共同代表。東北芸術工科大学教授。1962 年生まれ。1990 年東京工業大学大学院建築学専攻修了。ワークステーション一級建築事務所勤務を経て、1991 年竹内昌義アトリエを設立。1995 年加茂紀和子、曾我部昌史、マニュエル・タルディッツとみかんぐみ共同設立。2000 年より東北芸術工科大学で教鞭をとる。最近の作品に「伊那東小学校」「愛・地球博トヨタグループ館」など。馬場氏らとの共著「未来の住宅—カーボンニュートラルの教科書」（バジリコ株式会社）が 2009 年 9 月に出版。



田村 誠邦氏 株式会社アークブレイン代表取締役、明治大学理工学部客員教授

1977 年東京大学工学部建築学科卒業。1997 年株式会社アークブレイン設立。共同ビル等の都市再生、マンション建替え、建築再生等のコンサルティングを専門とする。「求道会館・求道学舎の保存と再生事業」で 2008 年日本建築学会賞（業績）、「ストック時代における居住者参加型集合住宅供給の実現プロセスに関する研究」で 2010 年日本建築学会論文賞受賞。著書に「建築企画のフロンティア」（財）建設物価調査会、共著に「建築再生の進め方」市ヶ谷出版社、「世界で一番やさしい建築・不動産企画」エクスマレッジなど多数。



徳田 光弘氏 九州工業大学准教授

1974 生まれ 2003 博士（芸術工学）九州芸術工科大学 2003 九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科博士後期課程生活環境専攻修了。1999 九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科博士前期課程。生活環境専攻修了日本建築学会設計競技にて「優秀作品」受賞（1996 年）、住宅総合研究財団研究論文にて「住総研 論文選奨」受賞（2010 年）

日本建築学会設計競技「優秀作品」受賞（1996 年）、住宅総合研究財団「研究選奨」受賞（2010 年）他、共著に「地域づくりの新潮流～スローシティ・アグリツーリズム



納谷 新氏 納谷建築設計事務所

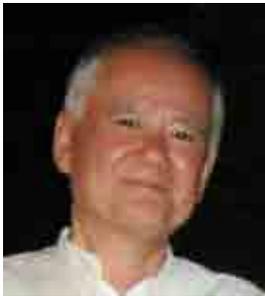
1966 年秋田県生まれ。1991 年芝浦工業大学卒業。1991～93 年山本理顕設計工場勤務。1993 年 兄・学とともに納谷建築設計事務所設立。「s-tube」で 2000 年あたたかな住空間コンペリフォームの部最優秀賞、住宅建築賞奨励賞。「宝珍楼」で 2001 年グッドデザイン賞、ar+d 賞、2002 年 JCD デザイン賞、2003 年日本建築士会連合会奨励賞。ほか 「403 号室」で 2002 年インテリアプランニング賞優秀賞、「teshihouse」で 2004 年あたたかな住空間コンペ新築の部入賞、「1227 号室」で 2004 年インテリアプランニング賞優秀賞、「海神の家」で 2004 年あたたかな住空間コンペリフォームの部最優秀賞など。



馬場 正尊氏 Open A 代表、東北芸術工科大学准教授、建築家

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002年Open Aを設立し建築設計、都市計画、執筆などを行う。最近の作品に、「勝ちどき THE NATURAL SHOE STORE オフィス&ストック」、「房総の馬場家と連棟」、著書に『都市をリノベーション』（NTT出版）、『「新しい郊外」の家』（太田出版）など。

都市の空き地を発見するサイト「東京 R 不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET（Central East Tokyo）のディレクターなども務め、建築設計を基軸にしながら、メディアや不動産などを横断しながら活動している。



松永 安光氏 建築家、近代建築研究所主宰

1941年東京都生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業後、芦原建築設計研究所入社。1972年ハーバード大学大学院デザイン学部修了。1980年SKM設計計画事務所共同主宰。1992年近代建築研究所設立。1997年より2007年まで鹿児島大学工学部建築学科教授。その後東京都市大学、東京藝術大学大学院で教える。

日本建築学会賞、日本建築学会作品選奨、日本建築家協会新人賞、日本建築家協会環境建築賞などを受賞。



松村 秀一氏 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授

1957年兵庫県生まれ。1985年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了、工学博士。1986年同大学工学部建築学科専任講師、1990年同大学大学院工学系研究科建築学専攻助教授、2006年同教授。その間、ローマ大学、トレント大学、南京大学、大連理工大学、モンリオール大学で客員教授を歴任。日本学術会議連携会員。

2005年建築学会賞（論文）、2008年都市住宅学会賞（著作）を受賞。

著書に「建築生産【第二版】」2010年、「住まいのりすとら」2010年、「建築再生の進め方—ストック時代の建築学入門」2007年、2006年、「建築とモノ世界をつなぐ」2005年、「団地再生—甦る欧米の集合住宅」2001年、「『住宅』という考え方—20世紀的住宅の系譜—」1999年、「『住宅ができる世界』のしくみ」1998年

(6) リノベーションスクール事業に関する報道（日経新聞への掲載）

北九州 空きビル活用研究会

市など協力で
民間団体開催

小倉地区の活性化に

北九州市は11日、建築

研究会は8月から開

「HEAD研究会」（東

備。建て替えではなく、

州リノベーションスクー

学。演習では、参加者

元のまちづくり関係者な

北九州市は小倉の市街

地への商店などの集積を
目指し、遊休不動産のリ
ノベーションの推進に取
り組んでいる。今回の研
究会では、開催場所の確
保や受講生の募集などで
全面的に協力する。

日本経済新聞

平成23年7月12日

特定非営利活動法人 HEAD 研究会 設立趣旨書

過去 50 年間、日本は世界史上有数の規模の新築市場を抱え続けてきました。そして、その需要に応える中で、住宅などの建築を設計し施工する産業とその部分としての建材や部品を製造する産業は、国際的に見ても特異な発達を遂げてきたのです。今や建築設計、建築施工、建材・部品生産、いずれの分野においても、日本は質量ともに世界に誇り得る実力を有していると言っても過言ではないでしょう。

しかし、現実の日本社会あるいは国際社会において、この実力が十分に発揮されているとはとても言えません。個々にはよくデザインされたかもしれない部品が集まって構成された現在の日本の住宅や町の景観が、その実力を発揮した結果だとはとても思えません。また、世界に通用する実力を持ちながら、国際的な建築市場での日本企業の活躍は実に控えめなものに止まっています。とても残念なことです。

人口減少が始まり、超高齢社会到来の中で巨大な新築市場の継続が危ぶまれ始めた今の時代は、これら産業の大きな転換期だと言って良いでしょう。この大きな転換期にあたり、今こそ、日本の建築や部品に関わる産業の実力を見直し、潜在するその能力をより豊かに発揮させる有効な方法を見出すべきだと考えます。

具体的には、多くの関係者の方々とともに、次の 3 つの事柄に取り組むことが重要だと考え、それを目的とした特定非営利活動法人 HEAD 研究会を設立致します。

- ① 格段に進化した IT 環境を最大限に活用し、建材・部品生産に従事する企業と建築設計・施工に従事する企業の間、更にはそれらと住まい手や事業主との間に、シナジー効果を持つ新たなコミュニケーション回路を確立すること。
- ② 日本の産業が世界の豊かな建築・都市環境形成に力強く貢献できるよう、複層型の国際交流を緩やかに、しかしあくまで戦略的に統合し、新たな市場を開拓するための確かな道筋をつけること。
- ③ 今後重要性を増すことになる既存ストックの再生によるより豊かな居住環境の形成という分野において、日本の建築や部品に関わる産業の新たな活躍の場とその方法論を創出し、その新たな場に求められる産業及び専門家の能力を育成する。

この 3 つの事柄は共通の狙いを持っています。それは、建築を通じて自身の思考や能力を社会に役立てるべく研鑽を積む有望な若者たちが、その志に相応しい活躍の場を見出せる末広がりな産業的環境をしっかりと形づくることです。

また、3 つの事柄の追求は、私たちの産業の目に余る日常を大きく変え、有望でしっかりとした産業的環境を作り出す、その重要な 1 歩になるものと考えています。

特定非営利活動法人HEAD研究会 活動への参加要領 (建材部品メーカー・企業・建築家・工務店・メディア・その他の方へ)

■設立時期

2011年10月頃 (現在申請中)

■活動参加要領

新しい建築産業の構築を目指す HEAD 研究会に賛同してくださる皆様には、今後、HEAD 研究会の活動情報を配信いたします。現在 NPO 法人化に向けて各 TF が活動しており、皆様には、関心のもたれた TF に積極的に参加していただきたく思います。建築家・工務店・メーカーや住まい手といった、多方向からの情報交換のできる場を提供する HEAD 研究会を、皆様と創り上げていきたいと考えております。

■NPO 法人 HEAD 研究会 会費

- (1) 入会費：無し
- (2) 年会費：個人正会員 20.000 円
法人正会員 120.000 円
準会員 (30 才以下) 3.000 円

■お申し込みについて

NPO 法人へのご参加のお申し込みは、所定の参加申し込み用紙に必要事項をご記入頂き、下記お申し込み先までファクシミリにてお送り頂きたいと思っております。
今回お申し込みいただいた方には、NPO 法人設立後改めて、詳細、会費のお振込時期等についてご連絡させていただきます。

■お問い合わせ

本件のお問い合わせは、下記担当までお願い致します。

問い合わせ先：HEAD研究会事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部
電話 03-5841-6154 FAX 03-5841-8518
担当 海野一希、浦西幸子、遠藤友里恵
E-mail: info@head-sos.jp

事前参加申込書 (2011)

平成 年 月 日

HEAD 研究会事務局 東京大学 行

FAX : 03-5841-8518

会社名 : _____

「特定非営利活動法人 HEAD 研究会」への参加を下記の通り申し込みます。

記

※区分

(メーカー・企業・建築家・工務店・メディア他) (いずれかに○をお付け下さい)

(個人正会員・法人正会員・準会員) (いずれかに○をお付け下さい)

1. 会社名 :

所在地 : 〒

2. 担当者

● 部署・役職名

● 担当者氏名

印

● 電話 ()

● FAX ()

● Email

3. その他 (この研究会活動の内容についてご意見・ご要望を是非お聞かせ下さい、また、具体的にどの TF の活動に興味を持たれたかも是非お聞かせ下さい)

